

CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)村田機械(株)本社社員駐車場	階数	地上2F
建設地	京都府京都市伏見区竹田向代町14	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	70時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年4月 予定	評価の実施日	2008年10月14日
敷地面積	3,406 m ²	作成者	大橋達也
建築面積	2,023 m ²	確認日	2008年10月16日
延床面積	3,851 m ²	確認者	村田機械(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合	駐車場としての合理的な仕様を選択し、建設時から運営時に至るまで無駄なエネルギー排出を抑制する。	その他 工事中における敷地外への残土排出を可能な限り低減する。
Q1 室内環境	居室エリア無しの為対象外	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限りの植栽を図り、緑化に努める。
LR1 エネルギー	適切な照度の確保と高効率照明(Hf)採用による省エネ推進を行う。	LR3 敷地外環境 近隣への通風を確保した建物となっている。
Q2 サービス性能	建築基準法に定められた構造信頼性を確保する。 駐車場としての合理的な空間寸法を確保する。	
LR2 資源・マテリアル	駐車場本体は大臣認定仕様の為、自由度はないが、外構部についてリサイクル材の利用を促進する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される